お問い合せコードNo PB-B770

企業価値の損失を最小限に防ぐ

製品安全対策マネジメントセミナー

～製品事故の未然防止と発生後の対応～

日　時　2006年10月27日（金）10：00～16：40

会　場　日本能率協会　研修室（東京・港区・芝公園）

参加対象　製造業のリスクマネジメント担当部門、経営企画、商品企画、法務、開発・設計、製造、品質管理、販売、広報、お客様相談室、総務等の担当者、管理者の方　その他、製品安全に関心のある方

※プログラム内容の適合上、国内の製造業の方に限らせて頂きます。

JMA 経営革新を推進する 社団法人日本能率協会

R100 PRINTED WITH SOY INK

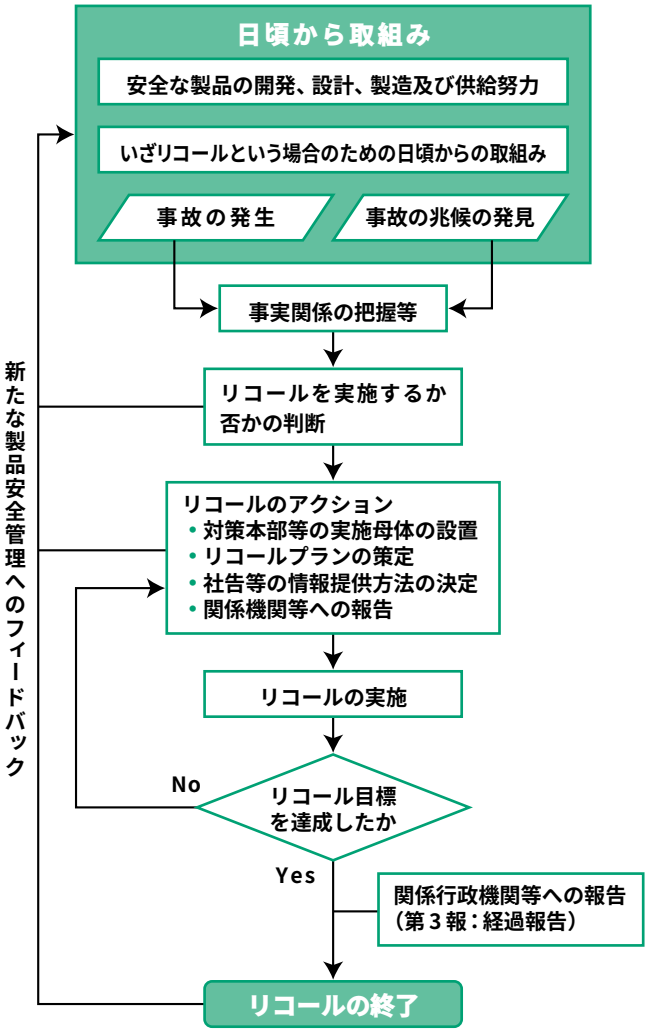
開催にあたって

企業の社会的責任が厳しく問われる今日においては、様々なリスクへの対応は企業経営の中で特に重点的に取り組むべき課題ですが、その中でも『製品に関わる安全確保』については、今改めて様々な観点から認識の強化が求められています。

輸出関連企業が、米国の厳しいPL（Product Liability）の洗礼を受け、日本企業がPL問題に恐れおののいた1970年代後半から1980年代、そして日本でも無過失責任のPL法が制定されて多くの企業が脅威を感じた1995年前後を経て、今やPL問題は遠い過去の問題の感がありました。しかし、最近になって立て続けに発生した食品、トラック、回転ドア、エレベータ、温風暖房機、瞬間湯沸かし器などの事故は、PL問題が依然として企業経営の根幹をも揺るがすリスクマネジメントの重要な課題であることを改めて認識させました。

そこで本セミナーは、2007年問題にもからみ、PL対策要員の急速な減少に危機感を抱く企業の方々に向け、30年の実務経験を持つPLコンサルティングの専門家がPLの基礎知識と実務知識を提供し、潜在的リスクの洗い出しや、PLリスク管理体制の再構築を推進する要員の育成を支援することをねらいとして開催します。

リコールの流れ：参考



消費生活用製品のリコールハンドブック／経済産業省 消費経済部 製品安全課編（財団法人製品安全協会 刊）より抜粋

■ 講師プロフィール

あら　い　　まさる
新井　克 氏

(株)損保ジャパン・リスクマネジメント
リスクエンジニアリング事業部
PLグループ　部長
PL担当主任技術調査役

経　歴

- ◆1984～2003年まで19年間、(財) 日本科学技術連盟の委嘱を受け、「プロダクト・セイフテイ研究会」の「PL法令・判例研究部会」の指導員。
- ◆1996～1997年まで、「東京都消費者保護条例の警告表示検討委員会」の委員。
- ◆2000～2001年、厚生労働省関連の「機械の危険情報開示に関する調査研究」の委員。
- ◆2000～2003年、(独) 製品評価技術基盤機構の委嘱を受け、PL事故報告制度の「PL事故原因技術解析ワーキンググループ（誤用検討部会）」の委員。
- ◆2001～2002年まで経済産業省関連の「消費者用製品のリコールハンドブック」の委員。日本版製品リコールガイドラインや社告のあり方などを検討。
- ◆2004年11月～2005年、(独) 製品評価技術基盤機構の「誤使用事故防止ハンドブック検討委員会」の委員。
- ◆2006年7月～2007年1月まで「包装機械の機械安全に関する調査研究会」の委員。

その他、多数の要職を歴任

資　格

- ◆JAB認定のISO9000審査員補（PL分野第1号）
- ◆損害保険協会登録の鑑定人（PL事故調査専門鑑定人）
- ◆経済産業大臣認定の消費生活アドバイザー
- ◆経済産業省認定「電気事業法に基づく発電設備のシステム安全管理審査員」

著　書

- ◆共著に「製造物責任対策（有斐閣）」「製造物責任（有斐閣）」「PL＝製造物責任（講談社）」「事例が語る米国PL訴訟（保険毎日新聞社）」「製造物責任と製品安全（日科技連）」、その他に雑誌・学会投稿多数あり

その他

- ◆米国保険協会（American Insurance Association）認定「製品安全コース」修了
- ◆全米安全協会（National Safety Council）認定「PLと製品安全コース」修了

● プログラム ●

10:00～16:40（昼休み 12:00～13:00）

1 日本のPL事情とPL法

- 形を変えたPL事故の報道と企業の受け止め方
- PL事故件数やPL訴訟件数の実態は？
- 海外のPL法（米国、欧州、中国）と日本のPL法、どのような点が違うのか？
- 日本だけのPL法の特徴とは？その影響は？
- 日本のPL法における欠陥判定基準とは？
- PL法施行後の企業や裁判動向はどう変わった？

2 製品安全設計

- 最近の具体例から学ぶ「設計上の欠陥」、「製造上の欠陥」（回転ドア、エレベータ、プール、シュレッダー）
- PLリスク（hazards）摘出のポイント
- 安全の優先順位（Safety Hierarchy）はグローバル基準
- 安全装置のオプション問題
- 製品の誤使用は、どこまでメーカー責任なのか？対策は？
- PLやPL対策から見た製品改造、製品寿命への対応？（湯沸し器、石油暖房機）

3 表示上の欠陥

- 警告表示はどこまで有効なのか？警告表示の限界は？
- 警告対策で許されるケース、許されないケースとは？
- 具体例から実感する「表示上の欠陥」
- デメリット表示はどこまでやるべきか？
- 適切な取扱説明書作成プロセスとは？
- PL訴訟に耐える取扱説明書の構成と作成のポイントとは？
- 警告ラベル作成上の留意点とは？

4 PLクレーム対応

- 危機管理から見たPL事故対応の重要性
- 各ステージにおけるPLクレーム対応の基本要件とは？
- 社告のあり方は石油暖房機の事案以降どう変わったか？
- ネットコンシューマとその対応はどうあるべきか?
- 日本企業に見る海外（特に米国）PLクレーム対応上の問題点
- 厳しさを増す海外（欧州、米国）における所轄官庁への事故報告義務

5 海外PL事情

- 収まっていない米国のPLの脅威
- 中国の賠償事情とPL事例
- 忍び寄る欧州の安全戦略と日本との安全格差

6 Q&A

7 その他

- ビデオの放映

参　加　申　込　書　JMAマネジメントスクール 行

FAX:03-3434-5505

ホームページのお問合せ・お申込は
http://school.jma.or.jp/

参加申込規定

参加料（消費税込）

（社）日本能率協会法人会員（事業所単位）	３８，０００円／1名（税込）
上　記　会　員　外	４１，０００円／1名（税込）

・昼食代、テキスト代、消費税が含まれております。
・日本能率協会は、一事業所・一住所で会員の登録を行っております。
・貴社の会員窓口をご確認のうえお申込みください。
※プログラム内容の適合性により参加者を国内の製造業の方に限らせて頂きますので予めご了承ください。

参加申込方法

① 申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページのオンライン申込みボタンより送信いただければ正式申込みとして受領されます。（開催間際のお申込みは、ご参加いただけないこともあります。あらかじめ電話でご確認ください。）
② お電話ではご予約のみ承ります。
③ 参加証・請求書は開催1カ月前から発送を開始いたします。なお、1カ月以内のお申込みの時は、申込書受付後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
④ 参加料は開催前日までに請求書の銀行口座へお振り込みください。
開催後のお振込みの場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日の連絡をいただければ結構です。（振込み手数料は貴学でご負担ください。）

キャンセル規定

・参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方もご都合がつかない場合は、下記のによりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
開催7日前～前々日（開催初日を含まず起算）…… 参加料の30%
開催前日および当日 …… 参加料全額
（注）万一キャンセルの場合は必ずファックスでご連絡ください。

ご注意

・お申込みいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
・録音機の持ち込みはご遠慮ください。
・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはおわけいたしません。
・開催可能な人数に満たない場合は、開催中止または延期する場合があります。

会員制度のご案内

社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度（事業所単位）を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会に是非入会をご検討ください。
資料請求先:マネジメント革新推進本部　TEL:03（3434）1373

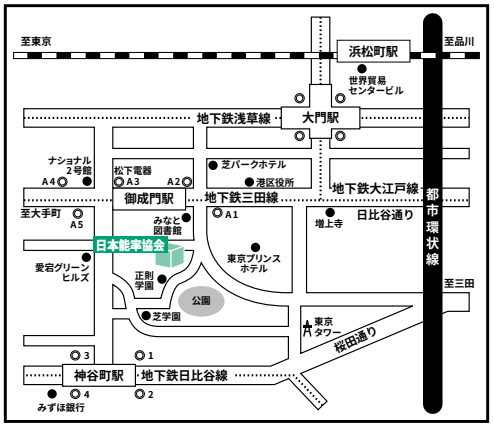
会場案内

日本能率協会・研修室
〒105-8522
東京都港区芝公園3-1-22
TEL 03-3434-6211（代）
（注）屋上に「JMA日本能率協会」の看板あり

●地下鉄
日比谷線・「神谷町」駅
・・・3番出口より徒歩7分
都営三田線・「御成門」駅
・・・A1出口より徒歩5分
都営浅草線・大江戸線
「大門」駅
・・・A6出口より徒歩12分

●JR線・「浜松町」駅
・・・北口出口より徒歩15分

●タクシー
東京駅から約20分
浜松町駅から約5分



プログラム内容お問合せ先

社団法人日本能率協会　ISO・マネジメントシステム事業部
TEL:03-3434-1373（直通）

参加申込先

社団法人 日本能率協会 JMAマネジメントスクール
〒105-8522　東京都港区芝公園3-1-22
FAX:03-3434-5505　TEL:03-3434-6271（直通）
（受付時間）月～金曜日9:00～17:00（ただし祝日を除く）
URL　http://school.jma.or.jp/（セミナーの最新案内、宿泊情報など各種情報をご案内）

個人情報のお取り扱いについて

（社）日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、小会ホームページに掲載されております。小会のプライバシーポリシー(http://www.jma.or.jp/privacy)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・運営・開催後の各種情報提供とプログラムのご案内等に使用させていただきます。

参加申込書

参加証・請求書はこの方あてにお送りいたします。それ以外をご希望の方は、「連絡希望事項欄」にご記入ください。

PB-B770　## 製品安全対策マネジメントセミナー　**10月27日（金）**

ふりがな		ふりがな	
会社名（正式名称）		事務所名	
所在地	〒	TEL	（　　）
		FAX	（　　）
メール配信	希望　□する □しない		
ふりがな		E-meil	
派遣責任者名		所属役職名	

□（社）日本能率協会法人会員（事業所単位）
□会員外
☑SJR会員

【連絡希望事項欄】
特別割引

参加者					受付No.
	メール配信	希望　□する □しない			
	ふりがな		E-meil		
	氏名		所属役職名		
	所在地	〒 派遣責任者と異なる場合はご記入ください。	TEL	（　　）	
			FAX	（　　）	

参加者					受付No.
	メール配信	希望　□する □しない			
	ふりがな		E-meil		
	氏名		所属役職名		
	所在地	〒 派遣責任者と異なる場合はご記入ください。	TEL	（　　）	
			FAX	（　　）	

参加料		お振込み予定日
	32,800 円 ×＿＿名　合計＿＿0＿＿円（税込）	月　日

参加証発行日	請求書発行日	領収日

（P）	（A）	センター
		No.

※太線の枠内にご記入ください。